



プレス発表資料

平成 22 年 10 月 14 日
秋 田 大 学

ボツワナ共和国鉱物エネルギー水資源大臣が講演

「秋田大学国際資源学教育研究センターシンポジウム」を開催

秋田大学（学長：吉村昇）は、10月20日、手形キャンパス内で国際資源学をテーマとするシンポジウムを開催します。

秋田大学は昨年10月、国際的視野を持つ資源開発人材養成や、資源保有国への技術協力のための拠点として学内に国際資源学教育研究センターを設置。アフリカの資源国・ボツワナ共和国での鉱山系の「ボツワナ国際科学技術大学」新設プロジェクトへの協力や、同国から留学生等の受け入れを同センターが中心となり行っています。

この度、同国ケディッキルウェ鉱物エネルギー水資源大臣閣下の秋田大学への来学に併せて、下記シンポジウムを企画しました。大臣をはじめ、国際資源学教育研究センター長、国内の国際資源学の研究者が講演し、国際資源における両国の連携の在り方について探ります。

日 時：平成22年10月20日（水）10：30～12：00

会 場：秋田大学60周年記念ホール（手形キャンパス）

講演プログラム

- 10：35～ ■ボツワナ共和国ケディッキルウェ鉱物エネルギー水資源大臣
「Over View of Botswana's Mining and Energy」
- 11：00～ ■秋田大学国際資源学教育研究センター長 水田 敏夫 教授
「資源国ボツワナおよびモンゴルとの国際交流とその意義」
- 11：20～ ■東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 山富 二郎 教授
「我が国の大深度・大規模地下空洞の金属採鉱技術」
- 11：40～ ■（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構 森脇 久光 理事
「ボツワナを中心とした南部アフリカにおける JOGMEC の最近の活動」

※入場無料、申込必要なし

【お問い合わせ先】

秋田大学国際資源学教育研究センター（担当）増田

TEL：018-889-2817／FAX：018-889-3012

e-mail：sigen@jimu.akita-u.ac.jp